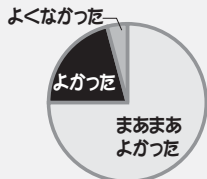


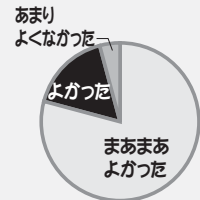
会場の声

1. 公開審査会について

①公開審査会の進め方は

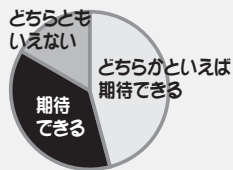


②各グループの企画発表は?



2. この助成事業について

③各区民グループの企画が実行されることで、福祉のまちづくりが推進することが期待できるが



④この事業によって、区民と行政の協力が進んでいると感じるが



3. 来場のきっかけ (複数回答)



■ 地域活動に対する助成制度に関心
■ 福祉のまちづくりの取組みに関心
■ 応募グループ関係



その他意見

- この企画により、福祉のまちづくりが進み、他区民へ広がっていくことを希望しています。これからも区と共に進んでいきたい。
- 講評をきくと、地域活動そのものが、時間の余裕がないとできないという印象になった。ちょっとした時間でも、少しのアイデアでも参加できるしくみづくりそのものが重要。
- 審査員の的確な講評になるほどと思うことが多かった。助成金がきちんと交付され、後も見据えてくださる安心感を持った。公開で、いろいろな団体のいろいろな活動を知り、頼もしく思った。
- 補助金を得るために大変エネルギーがいる。
- 今回初めて来場しました。各グループの発表は楽しかったです。
- ボランティアの範囲は何処までなんだろうと色々考えることが多くて有意義でした。
- 支援を申請したグループ同士が協働できるような取り組みが大きく育ちそうな予感がします。
- 全部のグループに助成金を出して欲しいです。例えば 20 万円が 2 万円でも助かります。
- 福祉のまちづくりの定義があまりにも不明確。ソフト、ハードの両面があると思うが、ハード主体の提案が多く、大切な福祉につながらないと思う。
- 審査会の時間が長すぎる。発表時間制限は審査を公平にするためでもあるし、見学者のことも考えて守ってほしい。

助成グループからのお知らせ

早速、活動を始めています！

認知症予防推進員の会

「居場所づくりグループ」

6月28日、素敵なお庭のある高野台敬老館の大広間で開催されたフリフリグッパ―体操の講習会にお邪魔しました。地域の高齢者のみなさんが大勢参加され、外に出かけて、仲間と体を動かすことの大切さ・面白さを体感されたようです。



協力者募集！

練馬ふくしの輪

練馬ふくしの輪は、「小さな福祉を輪になって支えられたら」との思いから設立されました。今年は「緑で元気になるう！」プロジェクトを行います。私たちと一緒に活動してくれるボランティアの方、余っている苗を譲ってくださる方を募集しています。緑の力で元気になりましょう！
連絡先 3922-1571 石川まで



事務局からのお知らせ

テーマ部門

やさしさ情報ねりまっぷミニ作成活動助成の
募集説明会を開催します

日時：平成19年8月10日(金) 午後7時～
場所：区役所19階会議室

あなたの街のバリアフリーマップ
を作りませんか？



「ふくまち」のお問い合わせ

担当：練馬区健康福祉事業本部
福祉部地域福祉課

TEL (3993)1111 (代)

FAX (5984)1214

ホームページ

http://www.city.nerima.tokyo.jp/shogaisha/fuku_machi/index.html